

補聴器と 集音器のちがい

- 1 安全性がちがう
- 2 調整がちがう
- 3 装着感がちがう
- 4 機能がちがう
- 5 価格のちがい

1 安全性がちがう



補聴器は、医薬品医療機器等法で

「人の生命及び健康に影響を与えるおそれがあることから、その適切な管理が必要」と、厚生労働省から認定を受けた

「管理医療機器クラスII」に指定されています。厳しい安全性の基準をクリアし、大きすぎる音が出ないように出力が制限されている機器ですので日常的に使用していただくのも安心です。

集音器は、「家電製品」に分類されます。

あくまで音を大きくする機器のため、個別の聴力に合わせることはできません。

耳に合っていないと負担をかけ、聴力の低下を早める可能性があります。

調整がちがう



補聴器は、対面販売です。

聴力は一人ひとり異なりその程度は軽度
中等度・高度など様々です。

補聴器は聴力に合わせて、きめ細かく調整を
します。

また、カウンセリングから個々のニーズに
合わせた調整も行います。

ご購入後もお使用者様のニーズの変化に
合わせて再調整します。

装着感がちがう



耳の形も一人ひとり異なります。

補聴器は、オーダーメイドで耳の形に合わせて
作製することが出来ます。オーダーメイドで
作製するメリットは

- ◆音響的に優れている
- ◆安定性に優れ、外れにくい
- ◆耳の形状に合わせるため、着け心地が良い

集音器などの既製品では、おさまりが悪く、
ズレたり、

外れたりするため、長時間の使用には向きません。

機能がちがう



補聴器には、様々な機能があります。

- ・ 雑音抑制 ・ マイクの指向性
- ・ ハウリング抑制 ・ 突発音、風切り音抑制
- ・ Bluetooth接続 ・ 自動環境適応

これらの機能により、ご使用者様のニーズに合わせた快適な聞こえを提供します。

近年ではAI（人工知能）技術を搭載した器種もあります。

価格のちがい



安全性・調整・装着感・機能の違いにより集音器との価格に差があります。

補聴器の価格には、購入後の調整やメンテナンスの費用が含まれています。

〈それぞれの一般的な価格〉

補聴器1台の価格目安 10万円～20万円

集音器1台の価格目安 1万円～2万円

〈補聴器に以下のような費用助成制度があります〉

- ◆ 障害者総合支援法
- ◆ 自治体による補聴器購入費助成
(自治体によって異なります)
- ◆ 医療費控除の対象